



三 国 湊

共創プロジェクト研究

歴史×観光×ひと が織りなす観光地へ



2025年8月開講
募集要項



学校法人 **先端教育機構**
Advanced Academic Agency

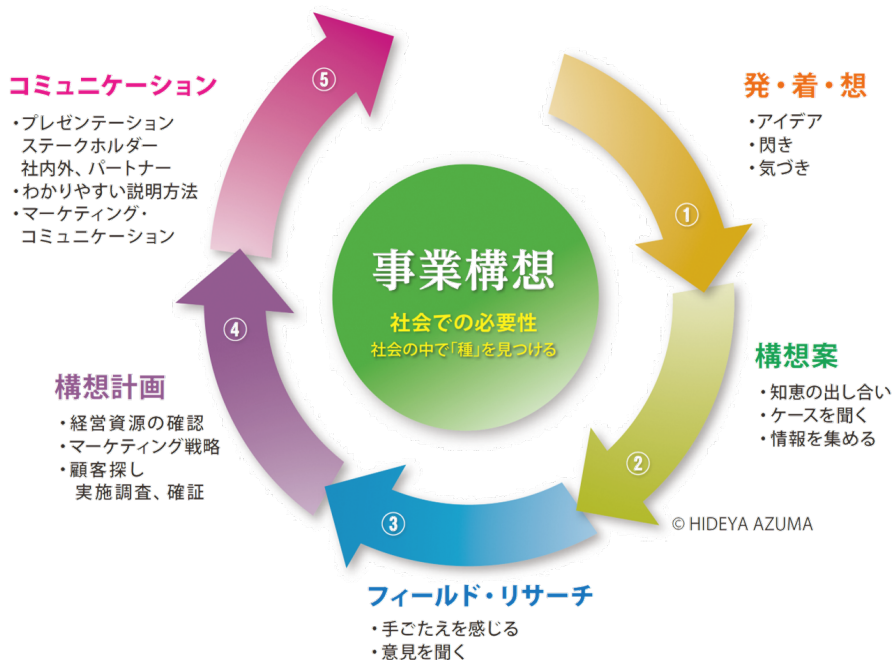
先端教育機構が目指すもの
事業と社会を構想する人材の育成

事業構想大学院大学 **構想を研究し、事業のアイデアを形にする**

理想の姿を描き、実現可能な計画に落とし込む事業構想について日本で唯一体系化したカリキュラムを保有する社会人向け大学院です。2012年の開学以来、600名近い事業構想人材(事業構想修士)を輩出してきました。顧客開発や経営・構想計画について学び、経営資源を活用した実現性と独自性の高い事業計画を構築します。



事業構想の考え方



プロジェクト研究 全体概要

本プロジェクトのカリキュラムには、事業構想サイクルのうち、発・着・想、構想案、シミュレーション、リサーチ、計画、投資側とのコミットメントなどが含まれます。これらの研究をしながら、研究員(参加者)は「事業構想計画書」を策定していきます。研究員の皆様と、事業構想ノウハウを持った教授陣・研究の第一人者をゲスト講師として招聘し、三位一体となってプロジェクトを1年間執り行います。

01 「事業構想」を体系化した唯一のプログラム

新事業の開発を目的とした日本で唯一の大学、事業構想大学院大学が本気になる環境と刺激、事業の種を気づいけていける知見と習慣づけを提供し、本学教授陣のファシリテーションにより、新規事業構想と実現可能な構想計画を立案します。

02 経営資源を活かし、実践的な事業を構想

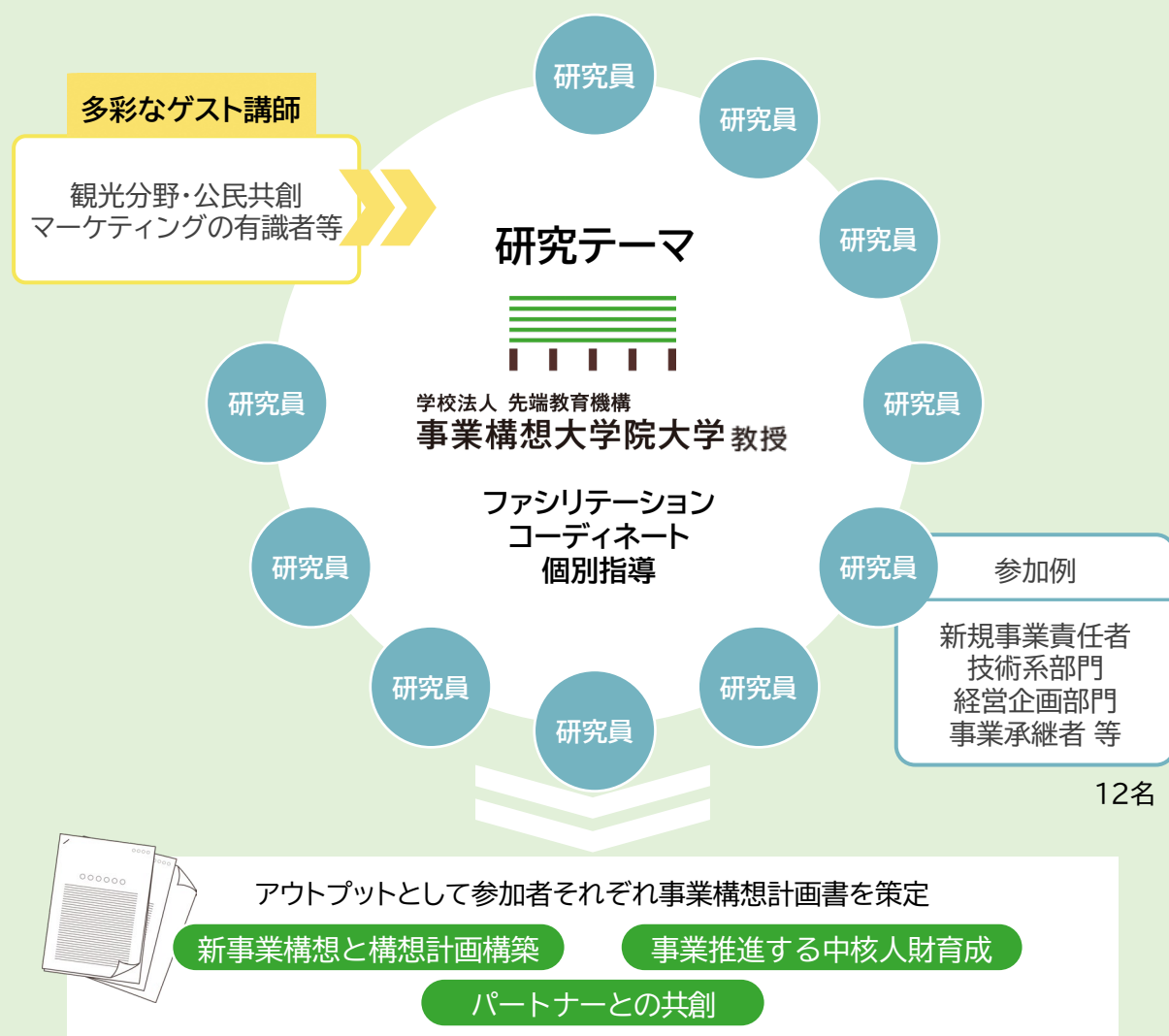
顧客開発など構想計画も、経営資源を活用した実現性が高く独自性の強いものを策定します。

03 最先端分野の有識者、第一人者とのネットワーク

本学がネットワークを有する、SDGsやDXなどの最先端分野における第一人者(官公庁・有識者・実践者・学者・起業家)からゲスト講師を招聘し、イノベーション支援を行います。

04 異業種との共創

研究会は異業種の研究員で構成されます。自社の業界領域を超えた、新たな事業モデルの構想を加速します。



市長メッセージ



坂井市長
池田 禎孝

坂井市では、将来像の実現に向け、「ひと」「住みよさ」「多様性」に加え、「幸せを実感できるまちづくり」の視点を取り入れた第二次総合計画後期基本計画を策定しました。坂井市の北西部に位置する歴史的文化財を有する観光地「三国湊」は、人口減少に伴い地域の未来を担う人材の確保が重要な課題となっています。そこで、事業構想大学院大学と連携し、地域課題の解決に取り組むビジネススキルを備えた実践的な人材の育成を進めます。本プロジェクトを通じて、新たな事業の創出や多様な市民サービスの充実を図り、持続可能で誰もが幸せを実感できる地域共生社会の実現を目指します。私たちと共にまちづくりに挑戦する意欲ある方のご応募を心よりお待ちしております。

担当教員プロフィール



事業構想研究所
教授 河村 昌美

大学卒業後に横浜市役所入庁。福祉、広報、教育部門を経て、2004年にアントレプレナーシップ事業（庁内起業家制度、当時）により、日本初の「広告・ネーミングライツ事業（民間による行政資産の有効活用推進事業）」に関する新規事業部門を設立及び推進。現在全国の地方自治体で広く取組まれている同事業のスタンダードとなるビジネスモデルを構築。その後、2008年に新設された共創推進事業本部（現：政策局共創推進室）の設立メンバーとして、設立当初から2021年3月まで所属。社会・地域課題解決に資する公民共創（産官学連携）を専門として、数百件の様々な分野にわたる企業と行政のマッチング、コーディネート、コンサルティング、連携案件形成に携わる。2019年からは、事業構想大学院大学事業構想研究所客員教授として、全国の自治体や企業を対象に公民共創や地域活性化・地方創生、SDGsなどに関する新規事業構想プロジェクト研究を担当。2021年4月から事業構想大学院大学教授、2024年4月より現職。その他、全国での国・地方自治体や大学、学会、セミナーなどにおいて公民共創に関するアドバイザー、講師を多数担当。法務博士（専門職）。

「三国湊共創プロジェクト研究」



少子高齢化に伴う人口減少、デジタル化、脱炭素といった社会の大きな変化の中で、新たな事業の創出やビジネスモデルの変革は不可欠となっています。地域においてもさまざまな課題が顕在化しており、これらの解決に向けた新たな価値の創出が求められています。

ここ福井県坂井市の三国湊エリアは、かつて水運・海運の要所として栄え、交易地として発展してきました。現在もその歴史を背景に、情緒あふれる街並みが受け継がれ、多くの魅力が残されています。

しかしながら、人口減少や少子高齢化の影響により、かつての賑わいが徐々に失われつつあるといった地域課題も抱えています。

「三国湊共創プロジェクト研究」では、

- 三国湊エリアを歴史×観光×ひとが織りなす観光地へSTEP UPする新事業を構想します。
- 事業の根本からアイデアを発想し、理想となる新たな事業モデルを作り上げます。
- 事業創出や観光分野の有識者から得られる知見とともに社会変化を洞察し、新規事業を構想します。
- 異業種の企業やパートナーとの知の共有探索や、コラボレーションによる共創を実現します。
- 約8か月間の研究会を通じて気づける素養を磨き、新たな事業を構想する人材を育成します。
- 三国湊エリアをより良くしたいという熱い思いを持っている方等に参加を頂き、三国湊の賑わい創出の実現を目指します。

新事業の創出を行う研究会

本研究会は、事業構想大学院の事業構想修士課程のカリキュラムのエッセンスを生かし、テーマに基づき、研究参加者の新たな事業構想と構想計画構築を行う研究会です。

担当教授と12人の研究員

研究会は、原則12人の研究員で構成されます。1人の担当教授が本研究期間を通してコーディネーターとファシリテーションを行い、研究員の知見を高めながら推進していきます。

充実のカリキュラムで構成された研究会

研究会は約8か月間の開催。多彩なゲスト講師を招き、研究員の視野を広め視点を磨きながら、研究員各自の新事業の創出を支援していきます。

研究員の資格を付与

プロジェクト参加者は、本学の事業構想研究所 研究員の資格が付与され、大学院の知やネットワーク、施設を活用できます。研究員は日常の仕事と両立させながら、研究会に参加します。

スケジュール・カリキュラム

体系を立てて進め、個性を最大化した構想と構想計画をつくる

<プロジェクト研究の構成内容>



回	月/日	時間	目標	講義内容例
1	8/28	9:00~13:00	【第1クール】 事業構想の基礎 発・着・想 事業アイデア創出	▶ オリエンテーション ▶ 坂井市等からの情報提供 ▶ 研究員の自己紹介 ▶ 事業構想概論 ▶ デスク・フィールドリサーチの知識 ▶ 生成AIの活用 ▶ 構想テーマの解像度アップ
2		14:00~18:00		
3	9/11	13:00~17:00		▶ 各自のテーマ・問題提起の再確認 ▶ 起業家の思考と行動 ▶ 顧客と課題
4	9/12	9:00~13:00		▶ クリエイティブ発想法
5	10/9	13:00~17:00		▶ フィールドリサーチをし、構想の問い(課題)・答え(解決策アイデア)の材料を集める
6	10/23	13:00~17:00		▶ 構想の初期コンセプト(事業アイデア)を固める
7	11/6	13:00~17:00	【第2クール】 事業構想案 策定・中間発表	▶ 外部環境分析、競合分析 ▶ バリュープロポジション
8	11/13	13:00~17:00		▶ ビジネスモデル設計の知識 ▶ 構想案(中間発表資料)の作成について
9	12/4	9:00~13:00		▶ 中間発表
10		14:00~18:00		
11	12/18	9:00~13:00		▶ 中間発表振り返り ▶ プロトタイピング
12		14:00~18:00		▶ マネタイズ、収支計画など ▶ 事業構想計画の作成についての知識
13	1/8	13:00~17:00	【第3クール】 構想計画に必要な 知識と実践法	▶ マーケティング
14	1/22	9:00~13:00		▶ 公民共創の知識と事例
15		14:00~18:00		▶ 各自の構想内容や進捗状況などに応じた講義
16	2/12	13:00~17:00	【第4クール】 事業構想計画 策定・発表	▶ 事業構想計画発表・ディスカッション
17	2/19	13:00~17:00		▶ 事業構想計画発表・ディスカッション
18	3/5	13:00~17:00		▶ 事業構想計画について教員個別相談
19	3/26	9:00~13:00		▶ 最終発表
20		14:00~18:00		

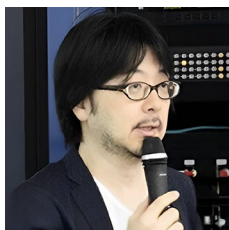
※カリキュラムは進捗状況により、変更の可能性がございます。

「プロジェクト研究」の特徴

第一線のゲスト講師・幅広いネットワーク

事業構想大学院大学は出版部門を有しており、SDGsやDXなどの分野における最新事例・第一人者(官公庁・有識者・実践者)とのネットワークを構築しています。本プロジェクト研究において、各分野の本質を理解しながら、新たな事業の開発につなげることを目指します。

三国湊共創プロジェクト研究 招聘予定講師 ※進捗状況により、変更の可能性もございます。



原尻 淳一

事業構想研究所 客員教授

龍谷大学客員教授

一般社団法人みつかる+わかる代表理事

(株)HARAJIRI MARKETING DESIGN 代表取締役

株式会社東急エージェンシーにて、主に飲料のブランドマーケティングを担当。エイバックスグループに転職し、マーケティングの統括者として、主にアーティストのマーケティング、映画の宣伝戦略、アニメの事業計画立案、BeeTV立ち上げ(新規事業)等を行なう。現在は、幅広い業界でマーケティング・コンサルタントとして活躍している。また、龍谷大学客員教授として、マーケティングとアカデミック・スキルズを13年間教え続けている。元龍谷大学社会科学研究所共同研究員。元慶応義塾大学メディアデザイン研究所リサーチャー。日経ビジネススクール講師。リクルートマネジメントスクール講師。環境省家庭エコ診断推進基盤整備事業検討委員、厚生労働省総合的ハラスメント防止対策事業検討委員等も歴任している。



中川 悦宏

事業構想研究所 客員准教授

(株)ソーシャル・エックス総研 主任研究員

横浜市役所にてキャリアをスタートし、主に公民連携専門部署の統括に従事。退職後、現在はグローバル系コンサルティングファームに所属し、官民共創系シンクタンクでも活動中。これまで数百件の共創事業の企画/実行支援に携わり、企業向けの新規事業構想の指導、全国自治体での公民連携に関する講師も多数担当。専門である公民共創によるクロスセクターでの事業開発/施策展開を通じて、地域活性化、社会課題解決、SDGsを推進。

パラレルキャリアとしてミュージシャンの顔も持ち、プロデュース・作編曲・演奏(サキソフォンほか)により商業音楽の様々なアーティスト・プロジェクトに携わる。

京都芸術大学大学院芸術修士課程修了(MFA)。

2020年より事業構想大学院大学事業構想研究所客員フェロー、2023年より現職。

実現性高い新事業構想構築のための独自体制

「研究員」としてフィールド・リサーチができる

社会課題をイノベーションを通じて解決する「研究員」としての資格を付与します。社会的に中立な研究員という立場として、ヒアリングやフィールドリサーチを行うほか、図書館、オンラインDBの利活用、アーカイブ視聴、メディア等、事業構想に必要な学内環境を利用することができます。

多彩な人的ネットワークの構築支援

専門家や自治体・官僚などをゲスト講師として招聘し、イノベーションに必要なインプットを行います。また、本学の院生を対象に行っている事業構想スピーチ(P12参照)にもご招待。さらに、本学の教授陣との個別相談や、研究員同士の情報交換で、専門的な視点を取り入れながら、各社/各自の事業構想計画をブラッシュアップすることができます。

メディア・プロモーション支援

優れた成果は月刊事業構想/事業構想オンラインをはじめとするメディアへ掲載し、プロモーションを支援します。

最終的なアウトプット「事業構想計画書」

定例研究会を中心に個別指導も受けながら、各研究員が1人1つずつ、「事業構想計画」を策定します。

事業構想計画書の構成例

- ・ 事業の概要(エグゼクティブサマリー)
- ・ 対象顧客
- ・ 商品・サービスの定義と顧客への提供価値
- ・ 内外環境分析(背景、経緯、市場予測等)
- ・ 具体的事業内容
- ・ フィールド・リサーチの結果
- ・ 顧客の獲得方法(マーケティングプランや営業方法)
- ・ 組織体制、協同先
- ・ 投資規模、収支計画
- ・ 事業化へ向けた課題と解決案(仮説で可)
- ・ リスクマネジメント

研究員修了生の声

研究会は、事業アイデアを考える「発想」から始まり、毎回楽しく研究に取り組むことができました。考えることが多く、最初は戸惑いもありましたが、「誰の・どんな悩みを・どうやって解決するのか」、1年間考え続け、自身の着眼点が変わったと感じています。その考え方は新規事業だけでなく、自身の業務や行内の人材育成にも活かすことができています。(銀行勤務 男性)

研究会では、担当教員の広い知見に刺激を受け、また、多様なゲスト講師の講義はこれまで知らなかった興味深い内容で、毎回新鮮な気持ちで参加することができました。(市役所勤務 女性)

講義を聞くだけでなく、実践的に学べたことが自信や成長につながりました。また、新しい知識を得ながら、教員からの多角的なフィードバックを受けることができ、毎回、研究会への参加が楽しみでした。(総合メーカー勤務 男性)

募集要項

プロジェクト期間

全20回、実施期間：令和7年8月～令和8年3月 ※詳細は次ページ参照

募集人数

12名

※ご応募いただいた書類をもって選考をさせていただきます。

※選考の結果は、参加可否問わず、8月8日(金)までにご連絡いたします。

※選考後の参加辞退はご遠慮くださいますよう、お願い申し上げます。

会場

三国コミュニティセンター(〒913-0047福井県坂井市三国町神明一丁目4番20号)

坂井市役所(〒919-0592 福井県坂井市坂井町下新庄第1号1番地)

オンライン

※各回により、開催場所が異なる場合がございます。

対象

- ・ 三国湊エリアをより良くしたいという熱い思いを持っている方
- ・ 三国湊エリアの観光推進に向けた新たな構想を考えたい方
- ・ 地域の魅力を生み出すビジネス創出に取り組みたい方
- ・ 地域課題の解決に資する事業構想に取り組みたい方

※企業について、業種や企業規模は問いません。個人事業主も応募可能です。

※プロジェクト期間を通して9割以上の日程に出席できる方が参加可能です。

申込期限

令和7年7月27日(日) 申込書類必着

申込書類

①研究申込書 ②個人調書 ③個人調書に貼付の写真データ(JPEG)



お申込書類はこちらより
ダウンロードください。

申込書類送付先

申込書類を以下宛にメールに添付してお送りください。

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所

プロジェクト研究「三国湊共創プロジェクト研究」担当宛

送付先メールアドレス：pjlab@mpd.ac.jp

研究参加費

無料

※会場までの交通費及び宿泊費は自己負担となります。

※各回、ご自身のPC(タブレットでも可)を持参の上、参加をお願いいたします。

事業構想スピーチ（任意参加）

毎週、月曜日の19時から21時に2時間のスピーチを実施。研究期間中の参加が可能です。



年間40回 各回2時間

各界を代表するキーパーソンから最先端ビジネスモデル・社会モデルを学び「発・着・想」を得て、自身の構想に役立てる。

革新経営者

創業経営者

新規事業責任者

地域活性・実践者

先端企業経営者

先端分野研究者

社会起業家

ブランドマネージャー

クリエイター

都市計画専門家

建築家

ITビジネスリーダー

過去の登壇例

※順不同、肩書は取材・登壇当時のもの、写真は一例です。



これまで累計200名以上が登壇。多彩なゲスト教員からヒントを得る。

事業構想大学院大学事業構想研究所の研究員

下記の通り、事業構想大学院大学事業構想研究所のプロジェクト研究員の立場が付与されます。



研究員証



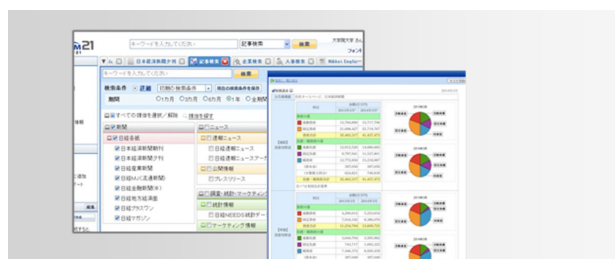
名刺



個別相談



共同研究会への参加 年6回



データベースの活用



学内環境・サロンの活用



研究修了証



アルムナネットワーク

- ・履歴書に研究員の経歴が記載可能。また、プロジェクト終了後には、研究報告書作成など規定要件を満たせば研究修了証を授与。
- ・一部コンテンツのアーカイブ視聴
- ・希望により学会発表や、メディア掲載の申請が可能。
- ・共同研究会とは:研究会の枠を超えて他社・他研究会と意見交換を行い共創。担当教員以外の教員や他県の研究員から構想へのフィードバックを得る。

個人情報の取扱いについて

本学が申込書類を通じて取得する個人情報は、

①研究員選考、②合格者発表

③参加手続き、④本学からのお知らせ、

⑤これらに付随する業務

を行う目的のみに事務局及び担当教員が利用いたします。

お問合せ

申込みやカリキュラムに関すること

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所

担当:大羽

〒450-6627 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-3 JRゲートタワー27階

TEL: 052-541-8411

Email: pjlab@mpd.ac.jp

プロジェクト研究事業に関すること

坂井市 総合政策部企画政策課

〒919-0592 福井県坂井市坂井町下新庄1-1

TEL:0776-50-3013



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所